

平成30年3月2日
中部地方整備局
名古屋港湾事務所

名古屋港のクルーズ船寄港時のにぎわいづくり体制、一歩前進 ～「クルーズ船の寄港促進に向けた名古屋港の魅力向上検討会」を総括～

中部地方整備局名古屋港湾事務所は、平成30年2月27日(火)、第5回となる「クルーズ船の寄港促進に向けた名古屋港の魅力向上検討会」を名古屋港ポートビルにて開催しました。

今回の検討会では、過去3年間に実施してきたクルーズ船寄港時の取組を確認し、関係者によるクルーズ船寄港時のにぎわいづくり体制の確立等の成果をとりまとめました。

検討会において官民連携の取組が進んだ結果、大型クルーズ船と中川運河クルーズが融合した新たな取組(詳細は下記参照)が始まるなど、にぎわい創出に向けた動きが着実に進んでいます。

「クルーズ船の寄港促進に向けた名古屋港の魅力向上検討会」では、外航クルーズ船の寄港地としての魅力向上に向けて実施してきた取組の成果をとりまとめると共に、今後は「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」等の関係者が連携して、にぎわい創出等の取組を継続していくことを確認しました。

また、今後のクルーズ船の更なる誘致拡大のためには、内陸部も含む背後圏の新たな観光ルートの開発や、継続的な関係者間の連携活動が必要不可欠である点も確認しました。

なお、検討会での議論の成果の一つとして、官民連携により、大型クルーズ船と中川運河クルーズが融合した新たな取組が開始されます。3月13日には、関係者向けのファミツアーが行われる予定です。(取材をご希望の方は下記の問い合わせ先にご連絡ください)

【検討会の成果】

「にぎわいの創出による魅力向上」:

歴史文化を活かした歓送迎イベント、一般市民へのチラシやSNSを活用したクルーズ船の寄港周知やセミナーの取組、ボランティアによる通訳など、心からのおもてなしに向けた体制やネットワークが構築できた

「岸壁・ふ頭利用等に係る各種調整」:

岸壁・ふ頭利用等に係る調整や税関・検疫等の手続きに関する課題把握など、関係者間での情報共有を図り、これを踏まえ名古屋港湾事務所に相談窓口が開設された

<検討会の様子>



第5回検討会
(平成30年2月27日)

<クルーズ船寄港時の取組の様子>



につぼんど真ん中祭りによる演舞
(平成29年11月)



日本文化体験
(平成28年6月)

■配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、
港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

■問合せ先

中部地方整備局 名古屋港湾事務所
企画調整課 三崎(みさき)、前川(まえかわ) TEL 052-651-6763 FAX 052-652-0303



■参考資料

【「クルーズ船の寄港促進に向けた名古屋港の魅力向上検討会」について】

1. 設立趣旨

平成27年3月に設立された「名古屋港の未来を考える会」（事務局：名古屋港湾事務所）において、物流・産業のみならず、市民がより親しみを持てるみなとづくりを目指し検討を行っているところ、特に、近年増加するクルーズ船に対する名古屋港の魅力向上の必要性について多くの指摘がなされている。

名古屋港においては、外航クルーズ船の寄港増加に向けて、平成26年2月に「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」（事務局：名古屋商工会議所、名古屋港管理組合）が設立されるなど、クルーズ振興を通じた地域の活性化に向けた取組が進められているところであり、こうした取組とも連携しながら、寄港地としての更なる魅力向上のための具体的な取組を加速すべく、本検討会を設置するものである。

なお、本検討会においては、取組の成果が期待される以下の2点について重点的な検討を行うこととする。

- ① にぎわいの創出による魅力向上
- ② 岸壁・ふ頭利用等に係る各種調整

2. 構成員（順不同）

名城大学 人間学研究科 人間学部 水尾衣里教授（座長）
五洋海運（株）
中京海運（株）
旭運輸（株）
港まちづくり協議会
（株）ツアー・ステーション
名古屋商工会議所

（事務局）

中部地方整備局 港湾空港部
中部地方整備局 名古屋港湾事務所